



## 「いのちの山河」昼の部は超満席 昼夜で1050人が鑑賞

大澤豊監督の映画「いのちの山河～日本の青空Ⅱ～」の全国最初の自主上映会が10月17日、秋川キララホールで行われ、1050名が鑑賞しました。前作「日本の青空」の主人公で憲法学者・故鈴木安蔵氏の長女・鹿島理智子さん、同じく前作の脚本家・池田太郎さんも参加しました。19の賛同団体様、あきる野市教育委員会・あきる野市・日の出町の後援、そしてチケット普及、宣伝カーの運行、当日の要員など、多くの皆様の協力ありがとうございました。

「実話を通してこれだけ迫力のある映画が完成されたことをとてもうれしく感じました(74歳女性)」「本当の地方自治の姿を見ました。この心を全国に広げたいです(67歳男性)」「大変感動しました。どんな大作の映画よりもすばらしかったです(57歳男性)」「政治的なことは誰かがやってくれる的な気持ちになってしまいがち。自分たちで取り組む姿勢の大切さを改めて学んだ(27歳女性)」「俳優さんたちみんなでつくりあげたいという思いがひしひしと伝わってきました(32歳・女性)」「深澤村長のことばが原点だと思います。政治家はもちろん全ての人たちに見てもらいたい映画です(55歳女性)」「本当に感動し、涙ができました。満席にも驚きました。憲法を生かすことの大切さを改めて感じました(57歳女)」「ラストシーンでは涙が止まりませんでした(80歳男性)」など多数の感想が寄せられました。

※ホームページで感想文や写真が見られます。[あきる野9条の会](#) [検索](#) で上映会のページへ。

## 東京連絡会がふたつのつどい開催

九条の会東京連絡会が1周年にふたつのつどいを開催しました。



10月24日には日本教育会館で聖路加国際病院理事長、98歳の日野原重明先生が講演し「人を殺す戦争はあってはならない。民主党が政権をとっても改憲の動きは変わらない。アクセルを踏みこんで九条の会をもっと力づよくしないと。改憲投票が始まったとき、NOといえる数が必要だ。できることは身近にたくさんある。九条守るよき友を持とう。アクセルを踏んで、勇気を持ってともに前進しよう。世界平和のために！」と迫力を持って話しました。日色ともゑさんは「小学5年生のときに見た「原爆の子」の映画に心惹かれた。時には仕事を干されたこともあるが勇気を持って行動することが大切です。憲法を守り抜く覚悟です」と話し花森安治作「戦場」を朗読しました。会から2名参加。

11月13日には豊島公会堂でふたつ目のつどいを開催。シンガーソングライターのきたがわてつさんが日本国憲法前文などを熱唱しました。「拉致問題の

解決の道と九条」と題して蓮池透さん(北朝鮮による拉致被害者家族連絡会前事務局長)が講演。「2002年9月17日以降、こう着状態が続いているが、北の視点を分析して考える必要がある。経済制裁は最後の手段ではあるが、被害者の救済につながる戦略ではなかった。制裁よりも交渉です」と話しました。蓮池さんは著書「拉致」に、「日朝交渉の行き詰まりの背景に、北朝鮮の体制打倒を主目的とする人たちの影響があるとしたら、それを一刻も早く克服しない限り、拉致問題を解決する展望も生まれません。いま私は、右翼的な人たちから、『あいつは変節した』『裏切り者』とバッシングを受けています。私が願うことは、この運動が、被害者の救出を第一とするようなものであってほしいということだけです。



そういう運動がくれたとき、拉致問題も大きく動くのではないかと、期待しているのです」と書いています。続いて「東アジア共同

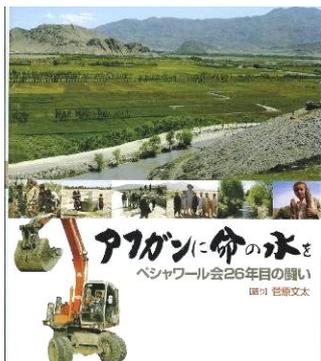
体と九条の新しい意義」と題して桂敬一さん（元東大教授、マスコミ九条の会呼びかけ人）は、5年体制から抜け出せない新政権とマスコミ、対米従属一辺倒のままではアジアに友人はつくれない、鳩山首相が目指す「東アジア共同体」をどう築くか、非核の世界は憲法九条を活かしてこそ実現可能になる...など話しました。6名が参加しました。

## 憲法ミュージカル900人を越える「ムツゴロウ・ラブソディ」



前日の朝日新聞多摩版などの記事もあってチケットも伸びたようで7日の昭島市民会館は900名を越える参加者で大盛況でした。90人の市民が150時間を越える練習に耐え抜いてつくり上げたすばらしい舞台でした。ギロチン水門に命を立たれた数多くの生き物、そして漁師たち。公共事業を告発し、ギロチン水門の開門と有明再生を歌い上げていました。ラストシーンの曲「回帰」に涙をにじませながら拍手した人も多かったでしょう。

## 「イラクとアフガン/現地からの報告」試写会は好評。出前上映します



10月10日に中央公民館で試写会を行いました。DVDは「アフガンに命の水」今年8月完成したベシャワール会・中村哲ドクターの用水路建設を描く（56分）。問題となっているアフガン支援のあり方も示唆しています。もう1本は

「ジャーハダ」イラク民衆の戦いを描く、西谷文和氏のレポート（36分）です。各地域で順次鑑賞会を実施したいと考えています。機材一式を持っていく出前上映です。もちろんテレビでの上映もかまいません。案内チラシも用意します。現在2つの地域から問合せが来ています。少人数でも結構です。

## いぬねこなかよし九条カレンダー好評販売中です

前号で予告したところ早速問合せがありました。会の財政強化のためにもぜひお求めください。限定

100部で残りは49部です。写真は岩合光昭氏、価格1000円。（右の写真は絵柄）

## ニュースの目

## 普天間基地の即時閉鎖、県内移転に反対



沖縄の米軍普天間基地即時閉鎖と「辺野古への新基地建設と県内移設に反対する県民大会」が8日、宜野湾市の海浜公園で開かれ、21000人が集まりました（写真）。宜野湾市長は県民大会の意義を、「戦後64年も続く米軍基地の負担、苦しみと悲しみに終止符を打つ英断を鳩山首相に求める」と強調しました。那覇市長は「私は保守系の政治家だが、県民の心は基地の整理・縮小で一つになれる」と述べ、北



谷町長は「住民の米軍基地負担の限界は超えている。普天間基地を嘉手納基地に統合する案は絶対に許されない」と表明しました。

私たちのすぐ近くの横田基地も問題です。世界でも市街地の真ん中に軍事基地があるのは日本だけといわれています。戦争で最初に攻撃されるのは基地です。基地は私たちを守ってはくれません。

## お知らせ

### ★福生市民九条の会が憲法学集会

「流れは変わった！でも憲法はどうなる？どうする？」講師：坂本修弁護士（東京法律事務所）

日時：12月6日（日）13:30～3:30 資料代300円

会場：福生市民会館3階第4・5集会室

## 事務局より

★サポーターの皆様へ：12月の定例会は通常通り第2土曜日（12日）10:30～、市役所1階ロビーで行います。各位にご案内は差し上げませんがよろしくをお願いします。

★九条守る賛同署名：賛同カード900名。

## あきる野9条の会が作りしました 34人が綴る「続 私たちの戦争体験記」をお読みください

- 450円（今年1月発売）
- 前作「私たちの戦争体験記」350円（一昨年12月発売）
- 復刻版「秋川市の戦争体験を語りつぐ総集編」400円